

市民と議会を結ぶ架け橋

議会だより 上野原市

No.48

平成29年
2月発行



特集

【うえのはらで頑張る人】
子育て世代のママの気持ち

特集	2
新年のごあいさつ	4
定例会で決まった主なこと	4
委員会活動	6
一般質問	11
議決結果等一覧表	15
市民の声	16



特集

【うえのはらで頑張る人】①

子育て世代のママの気持ちを伺いました

IN 巖子育て支援センター(巖こども園内)

市民と議会を結ぶ新たな企画として、市民の皆様へのインタビュー形式の特集記事【うえのはらで頑張る人】を掲載します。

今回は、人口減少が深刻化する中、子育て世代の方々がどのような形で子育て支援センターを利用し、どのような気持ちで子育てをされているのか、お話を伺いました。

ここに来ると、育児に関する悩みとか相談できる人がいるのが心強いですね。

子育て支援センターに来るきっかけは。

- 子どもの検診で市役所に行った際、保健師さんに教えてもらって知りました。
- お友達から教えてもらって来ました。
- ここに通っている知人のお誘いで一緒に来るようになりました。

みなさんは、市内にお住まいの方ですか。

- 結婚して、大月市から上野原に来ました。
- 以前から上野原に住んでいます。
- 結婚して、県外から来ました。
- 結婚して、甲府市から来ました。
- 結婚して、今は県外に住んでいます。上野原の実家に遊びに来るたび、昼間両親が仕事に出かけていて不在の間に親子で利用させてもらっています。

上野原に住んでみて、印象はいかがですか。

- 道路は狭いところもあるけど自然が多くて静かなので私はけっこう好きです。虫が多い所はちょっと嫌ですけどね。ただ、子



どもが中学生くらいまではいいけど、高校進学の際の選択肢が少ないかなと思う。

子育て支援センターを利用し、どのように感じていますか。

■支援センターが出来て、本当に有り難いです。

■他市の支援センターに行ったこともあるけれど、ここは色々な教室が催され中身が充実しているのが嬉しいです。設備もきれいでおもちゃも清潔なので安心です。

■子どもが3人いますが、上の子を育てる時はこのような場所がなく、水曜日に市役所のプレイルームに行っていました。下の子を連れて毎日利用できるの助かります。

■ここに来ると、育児に関する悩みとか相談できる人がいるのが心強いですね。知識のある先生も関わってもらえるので、よく利用させてもらっています。

■小さな子ども同士触れ合う機会ができて、ストレスの発散にもなるのでとても有り難いですね。

■現在、一日通しての利用ができないので、どの時間でも自由にいられるような場所があればもつと良いなと思います。

■こども園や出張所と隣接しているので、イベントや会議があると駐車場が埋まってしまうので、利用できないことがあって。それがちょっと残念かな。

市議会や行政に望むことは。

■やはり病院ですね。午後とか土日に子どもの具合が悪くなると、八王子とか遠くの病院に行かなければならないのが大変です。

■産婦人科があつたら良いですね。一人目の出産の時は県外の病院でもいいかなと思つたけれど、二人目以降は近くの産婦人科がいいなと思います。

議会だよりを読んだことはありますか。

■すみません。あまり良く見ていません。(全員)

■広報は、プレイルームや子育ての情報が掲載されているので良く見るのですが……。

※皆さんに感心を持ってもらえるような紙面づくりを、さらに心がけてまいります。

議会を傍聴されたことはありますか。

■傍聴したことはありません。(全員)

■小さい子どもを連れて行けますか。

※小さなお子さんを連れて議会を傍聴された場合は、事前に議長の許可を得れば傍聴することができます。ご希望の場合は、事前に議会事務局(0554-621334)までお問い合わせください。



新年のごあいさつ

上野原市議会議長
鷹取 偉一

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より、市議会の活動に對しましてご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、少子高齢化による地域の衰退などさまざまな課題に対応するための「上野原市総合戦略」を策定し、その施策をスタートした年でありました。

本市はJR中央本線や中央自動車道・圏央道など首都圏各地域からのアクセスもよく「都心に近い自然豊かな田舎まち」で、登山やハイキン

グなど観光の需要はますます高まっています。

観光は各地域が持つ自然や景観、歴史、伝統、文化等の資源を生かした取り組みが可能であり、交流人口拡大のため、地域活性化のためにも非常に重要であります。

この上野原には豊かな自然や歴史ある文化など多くの宝が残っていますが、私たち市民はそれに慣れてしまいその価値に気づかないことも多く、市外から訪れる方々の目により改めて気づくことも少なくありません。

「観光」は、感じる幸せと書いて「感幸（かんこう）」と読みかえることもできます。市民の皆様がこの上野原に住んでいて良かったと幸せを感じられるようなまちづくりを市執行部と互いに知恵を出し合いながら全力を尽くして進めて参る所存でございます。

どうかこれからも力強いご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

12月
定例会



定例会で決まった主なこと

平成28年第4回定例会は、11月24日（木）から12月8日（木）までの15日間の会期で開催されました。

提出された議案

市長提出議案	18件
議員提出議案	1件

※議案名・議決結果等は15ページをご覧ください。

上野原市一般会計補正予算（第2号）

正算 補予

西小・上小にエアコン
島小・西中トイレ洋式化へ

今年度、国の補正予算が成立したことにより交付金事業の決定を受け、上野原西小学校と上野原小学校に冷暖房設置工事が実施されます。

また、島田小学校と上野原西中学校ではトイレ洋式化改修工事が実施されます。

なお、これらの工事はいずれも平成29年度の夏休み期間中を予定しています。

上野原市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定について

条例 制定

農業委員定数14名へ
新たに農地利用最適化推進
委員（14名以内）を選任

農業委員会法の改正に伴い、農業委員の選出方法が、公選制から市長が任命し議会の同意を得て選任する方法に変更されます。

現在の農業委員の定数を20名から14名にするとともに、新たに農地利用最適化推進委員（14名以内）が農業委員会で選任されます。

上野原駅南口昇降施設棟外建設工事（継続費）
請負変更契約締結について

契約 締結

上野原駅南口昇降施設棟外
建設工事（継続費）請負契約
1814万1840円を増額



関係機関との協議による土留め工法の変更や交通誘導員の増員、道路埋設物の試掘調査結果に伴う水道管切り回しの増工、昇降施設棟や橋りょうの設計変更等に伴い、増額変更しました。

上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区
管理会委員の選任の同意について

人事

檜尾根外十二恩賜林保護財
産区管理会委員に小俣喜男
氏を選任

檜尾根外十二恩賜林保護財産区管理会委員の小俣英雄氏が委員を辞任されたので、新たに上野原市野田尻1398番地の小俣喜男氏が選任、同意されました。

上野原市出産奨励祝金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について

条例 改正

4月より、出産奨励祝金の
支給方法が変わります。



現在、第3子以降の出生児に対し一括支給されている出産奨励祝金50万円は、4月より出生時に30万円、小学校等入学時に20万円と、2回に分けて支給されます。

（祝金は県内市町村の中で最高額です。）

地方議会議員の厚生年金の加入を求める意見書（案）の提出について

発議

地方議会議員の厚生年金
への加入を求める意見書
を提出

平成23年6月に廃止された議員年金制度について、幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう、国の関係機関へ意見書を提出しました。

総務産業 常任委員会

平成28年11月28日

付託案件

- 議案第 98号 上野原市役所秋山支所会議室使用料条例制定について
議案第 99号 上野原市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定について
議案第 101号 上野原市税条例の一部を改正する条例制定について
議案第 102号 上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
議案第 114号 上野原駅南口昇降施設棟外建設工事（継続費）請負変更契約締結について

付託された

5議案を審査

11月24日の本会議において付託された案件について、委員会を開催しました。

当局より提出された5案件について、慎重に審査し採決を行った結果、いずれも全会一致で、原案どおり可決すべきものと決定しました。

所管事務調査

上野原駅周辺整備事業及び (仮称)談合坂スマートIC 事業の進捗状況を調査

審査終了後、上野原駅周辺整備の進捗状況および(仮称)談合坂スマートIC事業の進捗状況について、現地調査を行いました。両事業とも進捗状況を確認し、今までと同様、問題や課題解決に

pick up

議案第99号の主な質疑

問 なぜ農業委員と推進委員に分離する必要があったのか。

問

農業委員が20人から14人に減ること弱体する地区は出てこないか。また、担当地区をどのように分けるかなどの規則・規定はいつ作るのか。

答

農業委員会の機能を、委員会としての決定行為と各委員さんの地域での活動の2つに分ける分担制により、それぞれが確に機能するとともに、耕作放棄地や農地の活用をよリスムーズに行えるよう2つに分けていきます。

答

今年度中を目標に規則規定を作り、来年度の任期以降速やかに移行できるように考えています。

努め、着実に事業を推進していくよう当局に要望しました。



上野原駅南口の調査



談合坂スマートIC予定地を調査

文教厚生 常任委員会

平成28年11月30日

付託案件

- 議案第103号 上野原市出産奨励祝金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第104号 上野原市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第105号 上野原市立幼稚園設置条例及び上野原市立幼稚園授業料条例を廃止する条例制定について

付託された

3議案を審査

11月24日の本会議において付託された案件について、委員会を開催しました。

当局より提出された3案件について、慎重に審査し採決を行った結果、いずれも全会一致で、原案どおり可決すべきものと決定しました。

pick up

議案第103号の主な意見

この条例の目的は、子育て支援はもとより、市の将来にわたってこどもの人口増加の一環とするとともに、地域の活性化に資するものです。

昨年度（27年度）の実績額は、123件の1810万円で、第1子は5万円、第2子は10万円、第3子以降は50万円が祝い金として支給されるものです。

■ 小学校入学時の支給条件で、両親が万が一の場合に救済措置が受けられるよう、条例を再度検討すべきだ。

■ 関係各部署が協力・連携し転出理由を把握し、人口流出の歯止めにつなげるべきだ。

■ 市の出産奨励祝金支給制度は、県内27市町村で最も充実していることを色々なツールを利用し、もっとアピールするべきだ。

所管事務調査

小・中学校

トイレ改修事業の調査

審査終了後、今年度にトイレ改修が行われた上野原西小学校と、来年度改修予定の島田小学校、上野原西中学校へ出向き、改修前と改修後の状況を比較しました。

今後計画している未整備の学校も、学校間格差是正のため早期の改修等を行うよう要望しました。



上野原西小学校を調査

閉会中の継続調査

閉会中の継続調査として、県の富士・東部地域における小児初期救急の現状及び産科設置の進捗状況について、視察・調査を行うことに決定しました。



会津若松市議会議場で説明を受ける委員

先進地 福島県会津若松市

地域活性化の取り組み状況を視察

市民参加・市民協働・市民参画の推進

当委員会では、閉会中の調査として10月4日、地域活性化について先進的に取り組まれている福島県会津若松市の視察・調査を行いました。

会津若松市においては、平成4年をピークに観光客が減少しましたが、平成17年から「あいずステイネーションキャンペーン」をはじめとする大型観光施策を展開

することにより増加に転じました。

しかし、その後発生した東日本大震災や原子力発電事故等の風評被害により大幅減となったものの、様々な施策の展開により、震災前の入込数を取り戻してきました。

その中で、市民参加による「おもてなし」を進めることが必要と考え、市民全員が意識を持って観光案内をしていくために「6つ（椅子、トイレ、お茶、傘、お荷物、駆け込み）のどうぞ運動」を広げ、

受け入れ態勢の充実を図っていました。

また、「極上の会津プロジェクト」は、会津地方の17市町村が一体となり、市町村の垣根を取り払って効率的・効果的なプロモーションをしていこうと立ち上げられ、その中の「まちなか観光推進事業」では、地域住民や市が一体となりまちなか観光を推進していました。歴史的建物や酒蔵などをライトアップし、夜のまちなか散策を推進するとともに、まちなか周遊パスの夜間運行を実施し、宿泊してもらうことで経済効果を上げ、夜の魅力を創出する取り組みなども行っていました。

その他、福島県外にターゲットを置いたPR活動や、中心市街地活性化の市民協働の取り組みについて説明を伺いました。

市民協働により、事業者や利用者の相互理解が図られるとともに、様々なアイデアや市民参画が生まれ、相乗効果がまちなかに広がってきたそうで、まちなかで活動している人に活動しやすい土壌づくりや、市民と市民をつなぐ役割が重要であるとのことでした。

当市においても、今回の視察調査の結果を十分参考にして、地域活性化の取り組みを推進するよう市当局に要望しました。



女川町地域医療センターの視察

宮城県公立黒川病院・女川町地域医療センターを視察

市民に寄り添い
市民が安心して頼れる市立病院を目指して

支持が第一であり、両者が市民に寄り添い、市民が安心して頼れる市立病院を目指し、協議を重ねて行くべきと考えます。

当委員会としても、この視察を生かし、地域医療の拠点病院として今後もさらに信用・信頼される市立病院となるため市民の要望や意見に耳を傾け、しっかりと対応して行きます。

市当局には、契約期限が迫っている指定管理について、内部体制を整え、この協議について早期に進め、進捗状況を議会及び委員会に随時報告するよう強く要望しました。

当委員会では、閉会中の調査として、10月11日から12日の2日間、指定管理における公立病院の運営状況について、宮城県に視察・調査を行いました。

上野原市立病院が、平成20年10月、公益社団法人地域医療振興協会に指定管理を委託してから10年の期間が終了しようとしている現在、指定管理における運営につい

て宮城県の類似施設に伺い調査することは、議会として審議をしていく上で重要なことであると考えたためです。

1日目は、黒川地域行政事務組合、公立黒川病院を視察。2日目は女川町地域医療センターを視察し、当事務組合が地域医療振興協会に管理・運営を任せるに至った経過や、現在の病院の状況及び今後の課題等について伺いました。

当市が管理・運営を委託している地域医療振興協会は、全国の自治体病院の指定管理の大手であり、指定管理者制度を選択した当時の当市の判断による、同協会との契約締結は、医師確保の面で最善の選択であったと考えられます。

今後は、非常に厳しい医療環境の中で継続的、安定的に医師・看護師等確保するには、協会のような組織的地域医療集団でなければなりません。両者が共通の認識を持って市立病院の現状や将来についての課題解決に向けて、早急に話し合いの場を設けることは重要なことです。まずは市民からの

議会における災害時の対応と

地域活性化の取り組みを視察調査

議会の果たすべき役割を考える

議会における災害対応・地域活性化の取り組みについて調査するため、10月24日大分県九重町、25日熊本県熊本市、26日合志市、益城町の視察調査を行いました。

九重町は、平成の合併をせず、単独の道を選んだ人口約1万人の町です。

九重町の命運をかけた建設費約20億円の九重夢大吊橋は、長さ390m、高さ113mの当時日本一の吊橋で、現在まで約100万人の観光客誘致が図られ、非常に大きな経済効果をもたらし、年間約2億円の利益が出ていることでした。計り知れない経済効果に目先のものにとらわれないという、良い教訓になったそうです。



命運をかけた九重夢大吊橋

熊本市議会は、災害時の議会対応について、今まで決めていなかった災害対策会議を、この震災を機に設置し、今後の災害時に対応できる体制整備を進めていました。想定外の災害は、いつどこで起こるか分からないと実感し、災害により多くの教訓を得たとのことで、この教訓を次の世代につなげ、他の自治体に発信することが大きな役目であると語っていました。



災害時の対応について説明を受ける
(熊本市議会)

合志市は、平成18年に2町が合併し10年目を迎え人口が80000人増加、現在は約6万人となっております。

議会においては、議会活性化調査研究特別委員会を設置し、議会改革に努め、委員会構成の再編・会派制の導入・本会議のインターネット配信などに取り組まれていました。



議会改革についての取り組みを伺う
(合志市議会)

熊本地震で最も被害が大きかった益城町は、指定避難所に1万6000人以上が避難し、未だに67人の方が避難されていました。情報の伝達が困難だったことから、事前にコミュニケーションする必要を痛感したとのことでした。議会としては公民館に避難した人への支援や、仮設トイレの設置に議員全員で協力したとのことでした。



熊本地震で大きな被害を受けた益城町舎の視察

本市議会でも、災害発生時の対応要領に基づき、災害に対する意識と準備を再確認し、災害時の対応に活かしたいと考えています。議会の果たすべき役割はより一層重要となり、市民に開かれた議会運営推進のため、今回の視察調査で得た先進議会の取り組みを参考にしたいと思えます。

人々が集う魅力あるまちづくりについて



山口好昭

質問 市観光協会の役割と位置付けは。

には、やはり上野原市から出ていく人を抑えることが大切だと思えます。企画課の方でも検討しています。

答弁

市観光協会の役割といたしましては、地域主体の観光振興と考えております。人口減少、少子高齢化、成熟化社会、外国人観光客の拡大などによって観光客の思考や価値観が変化してきています。行政だけでは対応しきれない面を、市観光協会が地域の中心となる存在として、独自に地域固有の資源の発掘、活用を行い観光地づくりの企画立案を行いながら、交流人口を拡大させる取り組みを行ってもらいたいと考えております。

質問

移住、定住者、若者世代へ新築住宅への経済支援の考えは。

えは。

答弁

この移住、定住に関する補助と言うのは、どちらかというと外から来る人を対象にした、かなり厚いシステムになっています。基本的

には、やはり上野原市から出ていく人を抑えることが大切だと思えます。企画課の方でも検討しています。要するに外に出ていかないで二男、三男が残ってもらうためには、新しくつくる家に50万、100万なりのお金を補助出来るようなものと考えていきたいと思っておりますので、是非ご理解をいただきたいと思えます。



観光協会の活動

災害への備えについて



遠藤美智子

質問

熊本地震では、非構造部材の損傷が原因で避難所として利用ができません。災害時に複数所ありました。災害時に住民の命を守るべき防災拠点となる当市の指定避難所の耐震化は。

指定避難所については躯体部分の耐震化はされていません。非構造部材については廃校となった体育館はまだ措置されておりません。今後計画的に耐震補強する必要があると考えます。

近年、大規模災害が発生している中、首都直下型地震等が発生した場合、市内でも甚大な被害が発生すると想定されています。大災害の際には住民の自主的な防災活動が必要となります。

自助・共助の主旨のもと結成された自主防災組織(区)の役割、活動状況は。

自主防災組織は地域住民同士が、いざという時に非難

の呼びかけ・誘導・救助・避難所の運営などを自主的に行う組織です。災害による人的・物的被害発生を目的とする上で、地区防災計画を見直して、地域に根差した支援活動を行ってまいります。

市は区の自主防災組織の現状を把握して、今後の自主防災組織の充実強化に努めると同時に、防災リーダーの育成にも、しっかりと取り組んでほしい。

他に、ヘルプカードの導入について、介護ボランティアポイント制度について質問しました。

要望

市は区の自主防災組織の現状を把握して、今後の自主防災組織の充実強化に努めると同時に、防災リーダーの育成にも、しっかりと取り組んでほしい。



先人から受け継いだ郷土の宝について



東山洋昭

質問 市の市民の財産である文化風習・風俗・歴史等、未来に残すべき文化遺産への認識について。

答弁 市の教育大綱では、地域に息づく伝統や文化を次世代に引き継ぐ重要性を指摘し、郷土を愛し、地域を誇りに思う教育の推進を謳っています。教育委員会では、教育大綱の実現に向け、文化遺産の把握に努め、重要なものを文化財として保護し、活用して行くという認識に立っています。

質問 現在の方向性について。

答弁 議員から指摘のありました、社会科の副読本にもありますが、次代を担う子供たちに引き継いでいくこと、また市民の方々に広く知ってもらうということの中で常設の展示施設については、非常に重要であると認識しています。第1次社会教育計画においても展示スぺー



疱瘡神社

ス、また郷土資料館等の整備に向けて、今後検討していかねばと思っております。子供の時から郷土愛を育む、また市民のよりどころとなる施設整備を関係者や関係機関、また庁内で調整を図る中で、その実現に向け、努力をして行きたいと考えています。

他に、上野原市立病院の指定管理について、BCPの策定状況について質問しました。

巖地域・千足地区について



川島秀夫

質問 千足地区の災害発生時の救助体制について伺います。

答弁 救急要請があった場合、車両重量の関係で千足橋を通行できません。その対応策として、救急隊1隊及び支援車2隊の計3隊6名で出場、千足橋手前久保集会所で救急車を待機させ、支援車2台に救急隊員及び必要とする救急資材を乗せ、現場へ向かいます。傷病者に対しての応急処置を施した後、支援車に傷病者を乗せ、久保集会所で待機している救急車まで搬送を行います。火災対応は、指令車2台を使用し、消防隊員及び可搬ポンプ、ホース等消火活動に必要な資機材を積載して、現場対応を図っています。

答弁

せん。千足地区から川合地区への市道は、認定路線として市道千足川合線がありますが、幅員1・5メートル、最急縦断勾配が約30%で、現状では歩道の利用に限られた路線であり、生活道路及び迂回路への利用は不可能な状況です。

先日、区長会長を初め地域の方々が陳情に來られましたので、担当課と相談し、前向きに解決する方法を検討していきたいと思えます。

他に、学童保育、四方津駅バリアフリー化について質問しました。

質問

行き止まりの千足地区から川合地区に抜ける迂回路整備について、地元の陳情が出ていますが。

答弁

現状では、迂回路はありま



千足橋

まちづくりについて



川田好博

質問 「上野原駅周辺整備基本計画」で「保健・医療・福祉機能は駅前広場周辺に配置します」と書かれています。今後の計画は。

土地区画整理組合を通じ開発者の「くろがねや」の一つでも多くの機能の実現を働きかけていますが、「保健・医療・福祉機能」は今は具体化していません。

意見 市としても独自に実現するために努力すべきです。

四方津駅のバリアフリー化について、JRから駅舎を一階にするという提案はありましたか。

質問 提案はありませんが、総合的に判断し、駅舎を一階にする案を含めて検討していく予定です。

要望 コモアブリッジから直接跨線橋につながることを強く求めます。

質問 周辺部から市街地を結ぶデマンドタクシーで駅が利用

できるように要求しますが、市街地の中でも買い物などが困難な状況が生まれています。市街地の中を結ぶ公共交通機関の整備が必要だと思いますが。

質問 駅南口広場の整備に合わせて路線の整備に向けバス事業者と協議を行っています。

質問 デマンドタクシーは市外の方も利用できるでしょうか。

質問 親族の方がお住まいしている場合などは利用できます。

質問 デマンドタクシーについてホームページでわかりますか。

質問 取り急ぎホームページの改善を図るなど対応していきたいと考えています。

質問 上野原市立病院

上野原市立病院



談合坂スマートーCと旧平和中学の活用について



尾形幸召

質問 ネクスコ中日本の工事着手は。

工事については用地取得の遅れにより未着工ですが、全体の86・5%の用地取得は完了済です。

質問 地域住民車両と工事車両との交通状況は。

質問 本体工事にあたり、通勤通学時間や騒音等に配慮するようネクスコ中日本に要望いたします。

質問 供用開始時期は。

質問 当初予定は平成29年3月末でしたが、開始時期は地区協議会開催後の調整となります。

要望

グラウンドの拡充や大中小型バス等の出入りを可能にする必要性から、校舎西側の山林用地取得の検討を。

質問 地区協議会とは。

質問 上野原市、ネクスコ中日本、国土交通省、山梨県、警察、大月市、有識者、地域住民、議会での構成です。

質問 旧平和中学校の今後の活用策は。



旧平和中グラウンド

情報通信基盤整備事業について



久嶋成美

質問 上野原市としての今後の方針について伺う。

答弁 現在も半数近くの市民が、

UBCのテレビやインターネットサービスを利用して
いる状況で、UBCにおいては市との合意事項の履行
に向け全力で取り組み、経営基盤の安定と加入者の増
加拡大を図っていただく必要があるため、市としても
引き続き協力しながら早期実現を図りたいと思います。

答弁 光ケーブルについては合併特例債等を財源として整備し現在はまだ償還期間中
です。今後におきましては、

質問

UBCの経営の安定化とケーブルのあり方等も考え検討する必要があるかもしれ
ません。

答弁

市長は8年前にこの事業を中止を視野に見直すという
公約を1丁目1番地に掲げて
当選したがチラシの中には「推進する」とある。いつ
方針が変わったのか説明
すべきだと思うが。

意見

この事業は合併特例債等を
活用して市内の情報化を進
めていくという事でスター
トしているので変更とい
事ではないです。
情報通信、IT関係は日進
月歩です。一番犠牲をこう
むっているのは市民です。



市長の政治姿勢と公約について



杉本公文

質問

業者の金は受け取らないと約束したのに、なぜ市長は業者から100万円を市長室で受け取ったのか。また、市長は現金の写真を撮り、翌日、警察に告発したとの事ですが、それは事実なのか再度伺います。

質問

任を果たさないといい事がよくわかりました。

答弁

警視庁でもこの問題は終わらせていますので、あえてこれ以上無駄な時間を費やす必要はなく、答弁は控えさせていただきます。

意見

私が確認したところ、市長はその日の夕方、ある知人宅を訪れ、どうしようかと相談をした。知人は、受け取っては駄目だと言い、知人が写真を撮り警視庁に翌日届けたが、市長は返す気はなかったというふうに受け取ったとも聞いている。返すなら、相談する必要はない。時効にはなったが、責任は重い。市長が質問に対する答弁をせず、説明責

答弁

今までの経過の中でそういった協定があり、現在動いているが、今後の事を考えた中で十分に協議を進め良い方向に努力します。ご理解いただきたいと思います。

平成28年第4回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案

(◎賛成討論者 ●反対討論者 ○賛成 ●反対)

議案番号	案 件 名	付託委員会	遠藤美智子	川田好博	久嶋成美	東山洋昭	小俣修	川島秀夫	杉本公文	田中英明	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	鷹取偉一	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果
99	上野原市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定について	総務産業	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	原案可決
発議5	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書(案)の提出について	—	●	◎	●	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○	原案可決

◆全会一致の議案

番号	付託	案 件 名	結果	番号	付託	案 件 名	結果	
98	総務産業	上野原市役所秋山支所会議室使用料条例制定について	原案可決	108	—	平成28年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	
100	—	上野原市職員給与条例の一部を改正する条例制定について		109	—	平成28年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)		
101	総務産業	上野原市税条例の一部を改正する条例制定について		110	—	平成28年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)		
102	—	上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について		111	—	平成28年度上野原市大目財産区特別会計補正予算(第2号)		
103	文教厚生	上野原市出産奨励祝金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について		112	—	平成28年度上野原市巖財産区特別会計補正予算(第2号)		
104	—	上野原市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		113	—	平成28年度上野原市島田財産区特別会計補正予算(第2号)		
105	—	上野原市幼稚園設置条例及び上野原市立幼稚園授業料条例を廃止する条例制定について		114	総務産業	上野原駅南口昇降施設棟外建設工事(継続費)請負変更契約締結について		
106	—	平成28年度上野原市一般会計補正予算(第2号)		115	—	上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区管理委員会委員の選任の同意について		同意
107	—	平成28年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)						

住み慣れた場所で最後を迎えるために

多くの方が住み慣れた場所で最後を迎えたいと願っていますが、今それが叶えられているのは一割の人だけです。病気が治らない、看病する家族がない、山奥だからなどの様々な理由で多くの方があきらめています。

今上野原は、希望すればどんな方でも家で最後まで過ごせる地域になっています。市役所長寿健康課の皆さんが音頭を取って、医療や介護の様々な職種や地域の代表者が集まり知恵を出し合っています。そこにはICT(情報通信技術)を活用した、情報共有システムも導入されています。皆様ひとりひとりにあった在宅支援チームを作る事ができます。

皆さんは、まずこの上野原の在宅医療と介護の現状を知って下さい。そして、あなたの大切な方に教えてあげて下さい。

もう一つ皆さんにとって大事な事は、将来医療や介護を受ける当事者としての「選択と心構え」です。例えば、病気の進行や老衰のためご飯を食べることが難しくなった場合、胃ろうによる栄養補給を望むか否かという選択があります。今決めるのは難しいこともあるでしょう。でもその選択をした場合にどのようなことが起きるのかをあらかじめ知って、心構えを持っておくことはできます。私たち医療や介護の専門家は、皆様の選択(希望)を実現するために手を尽くします。

明日の我が身のこととして、最後の時をどこでどのように過ごしたいかを、是非ご家族で話し合ってみて下さい。

市民の声



上條内科クリニック
院長 上條武雄さん

3

月定例会予定

議会の傍聴にお越しください!

正式な日程は、2月23日(木)開催の本会議で決定する予定です。

ご希望の方は、当日市役所3階の議会事務局受付までお越しください。

(予約は必要ありません)



日	月	火	水	木	金	土
2/19	20	21	22	23 本会議	24	25
26	27 総務産業 常任委員会	28	3/1 文教厚生 常任委員会	2	3 一般質問	4
5	6 一般質問	7 一般質問 (予備日)	8 予算特別 委員会	9 予算特別 委員会	10 予算特別 委員会 (総括)	11
12	13	14	15 本会議	16	17	18

編集後記

新しい年を迎えて、いかがお過ごしでしょうか。本年は「酉年」に因んで、あらゆる面で羽ばたいてまいりたいと思います。

議会だより編集常任委員会では「議会だより」が市民の皆さまにとって、より身近に感じ、手に取って読んでいただけるよう、昨年よりリニューアルをしております。今号より『特集』記事を掲載いたしました。第1回目は子育て世代ママを対象にたくさんのご意見を伺いました。また、一般質問の文字数を削減し、市民の皆さまが読みやすいすっきりとしたレイアウトにしました。

編集委員一同、今後も市民と議会の架け橋となる「議会だより」を目指してまいります。本年もどうぞよろしくお願い致します。

※議会だよりに対するご意見をお寄せ下さい。お待ちしております。

議会だより編集常任委員会
委員長 久嶋 成美
副委員長 遠藤美智子
委員 長田喜巳夫
委員 川島 秀夫
委員 東山 洋昭
委員 川田 好博

